

【質疑応答要旨】

【記者】 補正予算の「こまき応援寄附金推進事業」について、3億7,900万円の増額の理由を詳しく知りたい。

【市】 当初予算では寄附額を8億円と見込んだが、現在14億8,000万円ほどの寄附額が得られると見込んでおり、増額分の約3割をお礼の品代として計上した。

【記者】 予想より多くの寄附があったということだが、特に人気だったお礼の品は何か。

【市】 おせち料理を選ぶ方が非常に多い。全国的にもおせち料理をお礼の品とする自治体が増えており、主たる競争の場ともなっているため、そういった動向を見定めながら予算を増額した。

【記者】 公共施設の予約システムについて、市民と市外の方で差を設けていることだが、どういう仕組みなのか。また、これは近隣の他自治体と比べて先進的なものなのか。

【市】 初めに抽選会を開催するが、参加できるのは市民で構成された団体または市民の方に限られる。その後、抽選で入らなかった予約枠に随時一般予約を受け付けるが、先に市民の方から予約枠を解放し、その後、市外の方にも開放するという流れになる。

他自治体でも予約まではスマートフォンでできる場所は多いが、キャッシュレス決済ができる場所は少ないと認識している。近隣だと、例えば春日井市は抽選、予約までは可能である。犬山市も予約は可能だが抽選会への参加はスマートフォンではできない。どちらもキャッシュレス決済には対応していない。

【記者】 光熱費を想定して来年度予算を組むのは難しい状況になっているのか。

【市】 非常に見込みにくいというのが正直なところで、例えば電気料金では固定料金、基本料金と従量料金等に加え燃料費調整単価というものがある。1年前のこの時期はマイナスで単価が計算されていたが、今年の夏はプラス3円、4円というところから2倍に増えていくような状況である。令和5年度の予算として各課からの要求について査定をしているが、このまま査定していくととんでもない数字になってしま

うので、現在の燃料の価格動向等も見極めながら精査している状況である。

【記者】 公用車など燃料費の状況はどうなっているか。

【市】 例年、公用車等を所管している部署の予算の中で編成しているが、こちらも当然燃料価格の変動を見込みながらやっている。今のところ電気・ガス料金の上がり幅ほどではないが、こちらも現在精査している。

【記者】 省エネ対策について、何かユニークなアイデアや取り組みはあるか。

【市】 最近東庁舎のLED化は行うなどもしたが、ユニークなものというとは特には思いつかない。これまでも職員がそれぞれ気をつけてやってきているが、特に今の燃料高騰は急激で、有効な対策を取れていない状況である。

【記者】 次の議会が3期目最後の開催となるが、市長の所感を聞きたい。

【市長】 この3期目、4年間の1年に4回ある定例会の最後ということになり、一つの区切りかなというような気持ちがある。今年は臨時会を7回開催したこともあり議会が多く、いろいろなことに対応しなければならない1年だったと思う。新型コロナ対策や物価高騰など、その都度、議会と相談しながら、必要なことについて速やかに実施していくということに努めた。就任した頃には「当初予算にできるだけ計上し、年度途中の補正予算は特別な理由がない限りはできるだけ控える」という風潮があったように思うが、やはり必要なことはスピード感を持ってやるべきだということで、その都度必要な予算を計上し、議会と議論して、スピーディーに施策を実施していくという思いでやってきた。今回もかなりボリュームのある議会になっているが、来期私が市長をやっているかどうかは選挙が終わるまでは分からない。今の任期中にできることはしっかり進めるという気持ちである。

ただし、今は交代するにはタイミングが悪いと思っており、来年の当初予算についても私のもとで予算を組むという意味を持って動いている。これで終わりだという意識ではなく、来年度予算に向けて検討を進めている。